

佐栄建設事業協同組合 第14回通常総会開催



総会

2017年5月12日(金)、佐栄建設事業協同組合の第14回通常総会が、東武ホテルレバント東京(錦糸町)にて開催されました。総会には組合員数98名のうち委任状出席を含め90名が出席。廣井理事長(広井建設㈱代表取締役社長)の議事進行のもと、平成28年度決算、平成29年度事業計画・予算、役員補欠選挙などが審議・承認されました。佐藤工業株式会社からは、来賓として宮本社長、宮澤土木事業企画部長、庄子建築事業企画部長が出席し、祝辞や挨拶を述べました。

廣井理事長 挨拶(要約)



廣井理事長

皆様、ご苦労さまでございます。本日は遠方より、第14回通常総会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。また、日ごろより当組合活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、佐藤工業の幹部の皆様も、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。このたび、通常総会も14回目を迎えました。これもひとえに、組合が設立されてから、協力会社の方々がいっぱい佐藤工業を盛り上げてきたという長い歴史と伝統があったからだと思っております。建設業界の景気は底固い状況にはありますが、今の時期に将来を見据え、基礎を固め、信用を築き上げることが必要であります。また、当組合は、時代の変化に対応し、未来志向へ変化する時期を迎えていると考えております。本日は、1年に1度の総会です。よろしくご審議をお願いいたします。

宮本社長 祝辞(要約)



宮本社長

国内建設市場は、国土の防災・減災、インフラの維持・更新などにより公共投資は底堅く、また設備投資の持ち直しにより、企業収益の改善・増加が期待されています。その中、建設業界は技能労働者不足や高齢化、若年労働者の建設業離れが進行しており、技能労働者の処遇改善、若年労働者の安定雇用・定着策などの課題を確実に克服していかなければなりません。当社は今期より、「コーポレート・ガバナンス体制と内部統制の充実」を基本方針に掲げ、グループ経営を推進しています。自立に向けた基盤事業の質的強化のため、国内土木・国内建築・海外事業の3本柱とし、業界内の確固たるポジションを獲得すべく、体制を整えていきたいと考えます。今求められているのはスピードであり、我々は世の中のスピードの常に先を行かなければなりません。次世代の会社を創るために何をしなければならぬか、真剣に考えて行動していきます。建設業としての使命と情熱をもって存在感を誇れる企業集団をめざし、当組合の皆さんと一致団結して、山積する課題に立ち向かっていきましょう。

< 議案 >

- 第1号議案 平成28年度決算関係書類承認の件
- 第2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算及び経費の賦課金徴収方法決定の件
- 第3号議案 借入金残高の最高限度決定の件
- 第4号議案 1組合員に対する貸付金残高及び債務保証残高の最高限度決定の件
- 第5号議案 手数料、貸付利息及び保証料の最高限度決定の件
- 第6号議案 役員報酬決定の件
- 第7号議案 役員補欠選挙の件

各議案は原案通り満場一致で可決決定を致しました。

新役員 紹介

専務理事 佐藤 親 (佐藤工業(株) 本社安全環境部長)
理事 海野 尚 (菱和建设(株) 代表取締役専務)
理事 山崎 泉 (株山崎組 代表取締役社長)



宮澤土木事業企画部長

宮澤土木事業企画部長 挨拶(要約)

今期の受注状況は、4月末現在で目標をすでにクリアしており、堅調な状況となっています。継続的な情報収集と対応の成果であると同時に、見積・施工計画面で支援をいただいている皆さんのお陰と感謝します。安全に関しては、今期から災害総件数で管理しており、目標の25件に対して現在10件と大きく下回っています。今期の残り2ヶ月間事故がないように、皆さんと協力して事故防止に努めていきましょう。今後も本支店が一体となり業績向上・安全確保に努め、現業・営業・技術が連携し、取組方針や戦略・体制など、常に改善を進めていきます。皆さんとは、各支店の地域性も考慮した上で確実な情報共有を図っていきますので、受注段階・施工段階において、強力なご協力を改めてお願いします。



庄子建築事業企画部長

庄子建築事業企画部長 挨拶(要約)

国内建設業界では担い手確保と育成の観点から、建設技能者の育成を目的とした訓練センターの整備、優良技能者認定制度への取組み、福利厚生を目的とした社会保険の加入促進などの取組みと並行して、生産性革命を合言葉にした建設業のICT化、先端技術を利用した省力化工法の活用が継続して推し進められています。もう一つの流れとして、建設業の労働環境を変えるべく、働き方改革への取組みが待ったなしで我々にも求められています。週休二日制など新しい事を始めるには、いつでも特別なエネルギーが必要となります。当社として、これからの変化への対応が、建設業界の成長に向けて避けては通れないと信じ、当組合の皆さんの協力を得ることで実現していきたいと考えますので、ご協力をお願いします。



松本副理事長

松本副理事長の閉会の辞により、第14回通常総会は、滞りなく終了いたしました。